

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-525725 (P2020-525725A)

【公表日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2019-571311 (P2019-571311)

【国際特許分類】

F 1 6 B 9/02 (2006.01)

F 1 6 B 1/00 (2006.01)

E 0 4 B 1/41 (2006.01)

E 0 4 B 9/18 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 9/02 D

F 1 6 B 1/00 A

E 0 4 B 1/41 5 0 2 N

E 0 4 B 1/41 5 0 2 C

E 0 4 B 9/18 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アンカーアセンブリであって、

アンカーは、

空洞を規定する本体と、前記空洞を通して、前記本体から外側に伸張する補強部材とを備え、前記本体は、前記空洞を覆って伸張するカバー部材を備え、

前記アンカーアセンブリは、

前記空洞に挿入可能な挿入装置をさらに含み、前記挿入装置は、固定位置と非固定位置との間で移動可能な固定部材を備え、

前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記カバー部材は、前記固定部材と協働し、前記固定部材を前記固定部材の固定位置に向けて付勢し、

前記移動可能な固定部材が前記空洞中の前記固定位置にあるとき、前記固定部材は、前記補強部材に係合し、前記挿入装置を前記アンカーに固定できる、アンカーアセンブリ。

【請求項 2】

前記本体は、前記挿入装置を挿入できる開口を規定する、請求項 1 に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 3】

前記アンカーは、互いに対向して構成されている 2 つの前記補強部材を備え、前記開口は、前記補強部材の間に規定される、請求項 2 に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 4】

前記本体は、前記補強部材を保持するための保持部材を備え、前記カバー部材は、前記保持部材上に据え付け可能であり、前記空洞は、前記カバー部材と前記保持部材との間に規定される、請求項 1、2 または 3 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 5】**

前記カバー部材と前記保持部材は、前記カバー部材を前記保持部材に取り付けるための取り付け構造を備える、請求項 4 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 6】**

前記取り付け構造は、ソケットと前記ソケットに収容可能なタブとを備える請求項 5 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 7】**

前記取り付け構造は、複数のソケットと前記ソケットに収容可能な複数のタブとを備える請求項 5 または 6 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 8】**

前記保持部材は、ベース部分を備え、前記保持部材は、前記または各補強部材を収容するための 1 つ以上の収容構造をさらに含む、請求項 4 から 7 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 9】**

前記本体は、前記アンカーを支持体に締結できるようにする締結構造を備え、前記締結構造は、アパーチャを規定し、それを通して締結具を収容する、請求項 1 から 8 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 10】**

前記カバー部材は、内側領域と外側領域とを有する内部表面を備え、前記内側領域は前記開口と整列する、請求項 1 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 11】**

前記固定部材は、先端と、前記先端から伸張する第 1 の表面と、前記第 1 の表面から伸張する第 2 の表面とを有する協働部分を備え、

前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記先端は、前記アンカーの前記本体と協働可能であり、前記固定部材を前記固定位置に向けて付勢する、請求項 1 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 12】**

前記挿入装置は、主要部を備え、前記固定部材は、前記主要部に回転可能に取り付けられる、請求項 11 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 13】**

前記固定部材は、重心を有し、前記固定部材は、前記重心において前記主要部に回転可能に取り付けられる、請求項 11 または 12 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 14】**

前記挿入装置は、前記挿入装置を前記アンカーにロックするためのロック構成を含み、前記ロック構成は、前記主要部上に据え付け可能なロック部材を備える、請求項 11、12 または 13 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 15】**

前記ロック部材は、前記挿入装置上に締め付けるように構成され、前記固定部材を補強部材上に締め付ける、請求項 11 から 14 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 16】**

ロック構成は、前記ロック部材上に、および前記挿入装置上に、対応する構造を含み、前記対応する構造は、前記ロック部材を前記挿入装置に固定するように互いに協働可能である、請求項 15 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 17】**

前記対応する構造は、前記ロック部材と前記挿入装置上に設けられた対応するねじ山を備え、前記ロック部材を前記挿入装置上にねじ留めすることを可能にする、請求項 16 に記載のアンカーアセンブリ。

**【請求項 18】**

前記固定部材は、2 つの上記協働部分を備え、各協働部分は、それぞれの先端を備え、

前記 2 つの協働部分は、互いに対向して構成されている、請求項 11 から 17 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 19】

前記 2 つの協働部分のそれぞれは、それぞれの第 1 の表面とそれぞれの第 2 の表面とを備え、前記第 1 の表面のそれぞれは、前記それぞれの先端から伸張し、前記第 2 の表面のそれぞれは、前記それぞれの第 1 の表面から伸張する、請求項 18 に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 20】

前記固定部材は、2 つの上記協働部分を備え、各協働部分は、それぞれの先端を備え、前記 2 つの協働部分は、互いに対向して構成され、前記 2 つの協働部分のそれぞれは、それぞれの第 1 の表面とそれぞれの第 2 の表面を備え、前記第 1 の表面のそれぞれは、前記それぞれの先端から伸張し、前記第 2 の表面のそれぞれは、前記それぞれの第 1 の表面から伸張し、前記 2 つの協働部分の前記先端は、その間に伸張する軸を規定し、前記軸は、前記固定部材の重心からオフセットしている、請求項 13 から 17 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 21】

前記または各協働部分は、前記またはそれぞれの補強部材を収容するためのくぼみを規定し、前記または各くぼみは、前記またはそれぞれの第 1 の表面に対向する、請求項 11 から 20 のうちのいずれか 1 項に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 22】

前記固定部材は、先端と、前記先端から伸張する第 1 の表面と、前記第 1 の表面から伸張する第 2 の表面とを有する協働部分を備え、

前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記先端は、前記アンカーの前記本体と協働し、前記固定部材を前記固定位置に向けて付勢できる、請求項 1 に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 23】

前記カバー部材は、内側領域と外側領域とを有する内部表面を備え、これにより、前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記先端は前記内部表面の前記内側領域に係合し、前記挿入装置の前記空洞へのさらなる移動の際、前記先端と前記内部表面の前記内側領域との間の協働は、前記固定部材を前記固定位置に向けて移動させ、前記先端に前記内部表面の前記外側領域に係合させ、さらなる挿入の間、前記先端と前記内部表面の前記外側領域との間の協働は、前記固定部材に、協働部分の第 2 の表面を前記内部表面の前記内側領域との係合に移動させ、これにより、前記固定部材を前記固定位置に向けてさらに付勢し、前記挿入装置が前記空洞にさらに移動されるとき、前記内部表面の内側領域は、前記協働部分の前記第 2 の表面と協働し、前記固定部材を前記固定位置に向けて付勢する、請求項 22 に記載のアンカーアセンブリ。

【請求項 24】

前記固定部材は、前記固定位置と非固定位置との間の中間位置へ移動可能であり、前記固定部材が前記空洞の前記中間位置にあるとき、前記固定部材の先端は、前記補強部材の外側表面に係合できる、請求項 22 または 23 に記載のアンカーアセンブリ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

図 9 および 10 に示した実施形態は、例えば、震動事象の間、固定部材 49 が補強部材から取り外される可能性を大幅に低減させるという利点を提供する。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[ 1 ] 移動可能な固定部材を有する挿入装置との使用のためのアンカーであって、

空洞を規定する本体と、前記空洞を通して、前記本体から外側に伸張する補強部材とを備え、前記本体は、前記空洞を覆って伸張するカバー部材を備え、

前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記カバー部材は、前記固定部材と協働し、前記固定部材を前記固定部材の固定位置に向けて付勢する、アンカー。

[ 2 ] 前記本体は、前記挿入装置を挿入できる開口を規定する、[ 1 ]に記載のアンカー。

[ 3 ] 前記アンカーは、互いに対向して構成されている2つの前記補強部材を備え、前記開口は、前記補強部材の間に規定される、[ 1 ]または[ 2 ]に記載のアンカー。

[ 4 ] 前記本体は、前記補強部材を保持するための保持部材を備え、前記カバー部材は、前記保持部材上に据え付け可能であり、前記空洞は、前記カバー部材と前記保持部材との間に規定される、[ 1 ]、[ 2 ]または[ 3 ]に記載のアンカー。

[ 5 ] 前記カバー部材と前記保持部材は、前記カバー部材を前記保持部材に取り付けるための取り付け構造を備える、[ 4 ]に記載のアンカー。

[ 6 ] 前記取り付け構造は、ソケットと前記ソケットに収容可能なタブとを備える [ 5 ]に記載のアンカー。

[ 7 ] 前記取り付け構造は、複数のソケットと前記ソケットに収容可能な複数のタブとを備える [ 5 ]または[ 6 ]に記載のアンカー。

[ 8 ] 前記保持部材は、ベース部分を備え、前記保持部材は、前記または各補強部材を収容するための1つ以上の収容構造をさらに含む、[ 4 ]から[ 7 ]のうちのいずれか1項に記載のアンカー。

[ 9 ] 前記本体は、前記アンカーを支持体に締結できるようにする締結構造を備え、前記締結構造は、アパーチャを規定し、それを通して締結具を収容する、[ 1 ]から[ 8 ]のうちのいずれか1項に記載のアンカー。

[ 10 ] 前記カバー部材は、内側領域と外側領域とを有する内部表面を備え、前記内側領域は前記開口と整列する、[ 1 ]から[ 9 ]のうちのいずれか1項に記載のアンカー。

[ 11 ] アンカーの本体中の空洞に挿入可能な挿入装置であって、

固定位置と非固定位置との間で移動可能な固定部材を備え、前記固定部材は、先端と、前記先端から伸張する第1の表面と、前記第1の表面から伸張する第2の表面とを有する協働部分を備え、

前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、前記先端は、前記アンカーの前記本体と協働し、前記固定部材を前記固定位置に向けて付勢できる、挿入装置。

[ 12 ] 前記挿入装置は、主要部を備え、前記固定部材は、前記主要部に回転可能に取り付けられる、[ 11 ]に記載の挿入装置。

[ 13 ] 前記固定部材は、重心を有し、前記固定部材は、前記重心において前記主要部に回転可能に取り付けられる、[ 11 ]または[ 12 ]に記載の挿入装置。

[ 14 ] 前記挿入装置は、前記挿入装置を前記アンカーにロックするためのロック構成を含み、前記ロック構成は、前記主要部上に据え付け可能なロック部材を備える、[ 11 ]、[ 12 ]または[ 13 ]のうちのいずれか1項に記載の挿入装置。

[ 15 ] 前記ロック部材は、前記挿入装置上に締め付けるように構成され、前記固定部材を補強部材上に締め付ける、[ 11 ]から[ 14 ]のうちのいずれか1項に記載の挿入装置。

[ 16 ] ロック構成は、前記ロック部材上に、および前記挿入装置上に、対応する構造を含み、前記対応する構造は、前記ロック部材を前記挿入装置に固定するように互いに協働可能である、[ 15 ]に記載の挿入装置。

[ 17 ] 前記対応する構造は、前記ロック部材と前記挿入装置上に設けられた対応するねじ山を備え、前記ロック部材を前記挿入装置上にねじ留めすることを可能にする、[ 16 ]に記載の挿入装置。

[ 18 ] 前記固定部材は、2つの上記協働部分を備え、各協働部分は、それぞれの先端を備え、前記2つの協働部分は、互いに対向して構成されている、[ 11 ]から[ 17 ]

」のうちのいずれか１項に記載の挿入装置。

〔１９〕 前記２つの協働部分のそれぞれは、それぞれの第１の表面とそれぞれの第２の表面とを備え、前記第１の表面のそれぞれは、前記それぞれの先端から伸張し、前記第２の表面のそれぞれは、前記それぞれの第１の表面から伸張する、〔１８〕に記載の挿入装置。

〔２０〕 前記固定部材は、２つの上記協働部分を備え、各協働部分は、それぞれの先端を備え、前記２つの協働部分は、互いに対向して構成され、前記２つの協働部分それぞれは、それぞれの第１の表面とそれぞれの第２の表面を備え、前記第１の表面のそれぞれは、前記それぞれの先端から伸張し、前記第２の表面のそれぞれは、前記それぞれの第１の表面から伸張し、前記２つの協働部分の前記先端は、その間に伸張する軸を規定し、前記軸は、前記固定部材の重心からオフセットしている、〔１３〕から〔１７〕のうちのいずれか１項に記載の挿入装置。

〔２１〕 前記または各協働部分は、前記またはそれぞれの補強部材を収容するためのくぼみを規定し、前記または各くぼみは、前記またはそれぞれの第１の表面に対向する、〔１１〕から〔２０〕のうちのいずれか１項に記載の挿入装置。

〔２２〕 〔１〕から〔１０〕のうちのいずれか１項に記載のアンカーと、  
前記空洞に挿入可能な挿入装置とを備え、ここにおいて、前記挿入装置は、固定位置と非固定位置との間で移動可能な固定部材を備え、

前記移動可能な固定部材が前記空洞中の前記固定位置にあるとき、前記固定部材は、前記補強部材に係合し、前記挿入装置を前記アンカーに固定できる、アンカーアセンブリ。

〔２３〕 前記挿入装置は、〔１１〕に記載されているものである、〔２２〕に記載のアンカーアセンブリ。

〔２４〕 前記カバー部材は、内側領域と外側領域とを有する内部表面を備え、これにより、前記挿入装置が前記空洞に挿入されるとき、先端は前記内部表面の前記内側領域に係合し、前記挿入装置の前記空洞へのさらなる移動の際、前記先端と前記内部表面の前記内側領域との間の協働は、前記固定部材を前記固定位置に向けて移動させ、前記先端に前記内部表面の前記外側領域に係合させ、さらなる挿入の間、前記先端と前記内部表面の前記外側領域との間の協働は、前記固定部材に、協働部分の第２の表面を前記内部表面の前記内側領域との係合に移動させ、これにより、前記固定部材を前記固定位置に向けてさらに付勢し、前記挿入装置が前記空洞にさらに移動されるとき、前記内部表面の内側領域は、前記協働部分の前記第２の表面と協働し、前記固定部材を前記固定位置に向けて付勢する、〔２２〕または〔２３〕に記載のアンカーアセンブリ。

〔２５〕 前記固定部材は、前記固定位置と非固定位置との間の中間位置へ移動可能であり、前記固定部材が前記空洞の前記中間位置にあるとき、前記固定部材の先端は、前記補強部材の外側表面に係合できる、〔２２〕、〔２３〕または〔２４〕に記載のアンカーアセンブリ。